様式第３号（第４条関係）

バルク供給設備の技術上の基準

（バルク貯槽による貯蔵能力が500㎏を超え1,000㎏未満のものに限る）

|  |  |
| --- | --- |
| １．貯槽の設備状況 |  |
| ２．貯槽の適合性 |  |
| ３．保安距離 | ①第1種保安距離(法定1.5m・構造壁等又は埋設設置　0m)　実際距離　　　m　保安物件の名称②第2種保安距離(法定1.0m・構造壁等又は埋設設置　0m)　実際距離　　　m　保安物件の名称 |
| ４．構造壁等 | 壁の構造　材料　　　　　寸法(高さ)　 　m(幅)　 　m |
| ５．貯槽の表示 |  |
| ６．腐食防止措置 |  |
| ７．転倒防止等の措置 |  |
| ８．プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等 |  |
| ９．火気等との距離 | ①火気等との距離　　　　m②火気距離が２m以内　防火壁等の設置の有無 |

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

様式第３号（第４条関係）

バルク供給設備の技術上の基準

（バルク貯槽による貯蔵能力が500㎏を超え1,000㎏未満のものに限る）

|  |  |
| --- | --- |
| １．貯槽の設備状況 | コンクリート基礎上地上設置　等 |
| ２．貯槽の適合性 | 特定設備検査合格証（発行番号○○○○）を添付　等・規則第19条第3号ｲバルク貯槽は特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証を有するものであること。・写しを添付すること。 |
| ３．保安距離 | ①第1種保安距離(法定1.5m・構造壁等又は埋設設置　0m)　実際距離　 1.2m　保安物件の名称　○○小学校②第2種保安距離(法定1.0m・構造壁等又は埋設設置　0m)　実際距離　 10 m　保安物件の名称　一般住宅 |
| ４．構造壁等 | 壁の構造　材料 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ等　寸法(高さ) 3.0m　(幅) 4.0mバルク供給・充てん設備告示第2条➀構造壁等の設置は最大2方向まで　➁下部は地盤面に設置➂投影されたバルク貯槽の縦横より1m以上の長さ　➃開口部がないこと |
| ５．貯槽の表示 | ＬＰガス・火気厳禁（朱書）、緊急連絡先規則第19条第3号ﾊ⑼⑽・液化石油ガス又はＬＰガス及び火気厳禁と朱書・緊急連絡先を表示 |
| ６．腐食防止措置バルク供給・充てん設備告示第10条 | 貯槽下地処理、錆止め塗装２回、上塗り塗装２回基礎の高さ地盤面から５ｃｍ以上打設　等 |
| ７．転倒防止等の措置 | アンカーボルト固定　等バルク供給・充てん設備告示第15条第2項・ガス漏れ検知器を設置しなくてもよい場合(例)漏えいの有無の確認を３カ月に１回以上実施するのであれば、貯蔵量に関係なく設置しなくてもよい基礎部分が写った写真を添付すること |
| ８．プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等 | バルク用警報器　○○○○設置　等 |
| ９．火気等との距離 | ①火気等との距離　○○　m②火気距離が２m以内　防火壁等の設置の有無 |

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。